

国連グローバル・コンパクトに署名 ～持続可能な成長の実現を目指して～

住友理工株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に署名しました。

UNGCは、企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する、自発的な取り組みです。当社は、旧社名「東海ゴム工業株式会社」から新社名「住友理工株式会社」へと商号変更を実施した10月1日に合わせ登録を申請、同上旬に登録が完了しました。

住友理工グループの根底には、何よりも信用・信頼を重んじる「住友事業精神」が流れています。当社は、UNGCが掲げる「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗の防止」の4分野とそれに付随する10原則を順守し、多様性の理解に努めながら国際社会での責任を全うすることを誓います。

<国連グローバル・コンパクト概要>

コフィー・アナン前国連事務総長が1999年に提唱、2000年に国連本部で正式に発足し、潘基文現国連事務総長も明確な支持を表明しているイニシアティブ。賛同を表明することで、持続可能な成長を目指し、自発的に参加・活動することが求められます。活動を通じたメリットとして、質の高い経営の実現、グローバル企業としての信頼性の強化、組織内におけるCSR（企業の社会的責任）活動に対する理解の促進などを図ることができます。

国連グローバル・コンパクトの10原則

人権	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担
労働	原則3：組合結成と団体交渉権の実効化 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な排除 原則6：雇用と職業の差別撤廃
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10：強要・賄賂等の腐敗防止の取り組み



以上